

<まちづくり概念図>

【阪急武庫川新駅基本合意に至るまでの経緯】

- 昭和17年 5月 西宮市と旧瓦木村との合併条件の覚書を交換
- 平成12年10月 旧瓦木村管内の自治会等の12団体で「阪急武庫川駅誘致推進協議会」を設立
- 平成12年11月 「阪急武庫川駅誘致推進協議会」から兵庫県、西宮市、阪急電鉄に陳情・要望
- 平成23年12月 「阪急武庫川駅誘致推進協議会」から兵庫県知事、西宮市長へ連絡協議会の設置を要望
- 平成28年12月 報告書「(仮)武庫川周辺阪急新駅による効果・影響について」を公表
- 平成29年4月 日野町まちづくり協議会より「日野町まちづくり提案書」の提出
- 令和元年11月 「阪急武庫川駅誘致推進協議会」を解散し、日野町・松山町自治会等に引継
- 令和3年9月 報告書「(仮)武庫川周辺阪急新駅に関する検討について」を公表
- 令和4年11月 尼崎市・西宮市・阪急電鉄の三者で基本合意書を交換

【現状と主な課題】

- 人口は微増傾向にあるものの高齢化に伴う地域活力の維持が必要
- 危険な交差点が点在しているほか狭あい道路の割合が全市平均と比べて高いため地域の骨格となる都市計画道路等を整備し、幹線道路のネットワークを形成することが必要
- 公共交通の利便性が低い地域があり、対策が必要
- 都市基盤がせい弱な地域については、地域ニーズに沿った都市基盤整備とまちづくりの一体的な検討及び実施が必要
- 地域特性を生かした緑豊かで美しいまちなみの保全と創出に向けた取組が必要
- 鉄道により地域が分断されているため、安全性の確保と併せた対策の検討及び実施が必要

【まちづくりのすすめ方】

新駅及び駅前空間整備

【新駅整備】

武庫川橋梁部にホームや改札等の駅を整備

【新駅へのアクセスルート整備】

徒歩や自転車による駅利用を中心とした歩行空間や瓦71号線等アクセスルートの整備

【自転車駐車場整備】

高架下を活用し自転車駐車場を整備

【地域内幹線道路整備】

(都)武庫川広田線の都市計画道路の整備

効果

- 地域内の公共交通の利便性が大幅に向上するとともに、人口が増加し地域が活性化する。
- 駅を利用する自転車及び歩行者の通行の安全性が向上する。

当面の整備内容

都市計画道路①及び地区内生活道路の整備

【地域内幹線道路整備】

(都)甲子園段上線の都市計画道路の整備

【生活道路整備】

瓦159号線、瓦161号線等地区内道路の安全性向上

効果

- 地域内を安全かつ円滑に移動できるようになり住環境が向上する。
- 地域内の自転車及び歩行者の通行の安全性が向上する。

都市計画道路②等の整備

【地域内幹線道路整備】

鉄道の高架化による(都)甲子園段上線の都市計画道路の整備

効果

- 新駅への更なるアクセシビリティの向上が図れ、さらに路線バスの運行が可能となり交通至便地区となる。
- 踏切が除去され、交通安全性が向上するとともに、南北の地域間交流が促進し、地域が活性化する。
- 幹線道路の整備に伴い住環境が向上する。
- 緊急車両等が迅速に通行することが可能となり地域の防災力が向上する。

